

平成 22 年 4 月 1 日
第 8 号

みちのく環境だより

環境省東北地方環境事務所 <http://tohoku.env.go.jp>

東北地域における環境問題の取組と東北地方環境事務所の活動内容を紹介しています。

地域の取組紹介

～完成!! 山形エコハウス (山形県)

山形県では、環境省の「21世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業」を活用して、このたび山形市上桜田に地元の気候風土に合った山形ならではのエコハウスを建設しました。同県は、完成に先立ち平成22年2月27日(土)にエコハウスの知識や技術の向上を図ることを目的として、建築関係事業者向けの施工見学会を実施し、また、3月25日(金)と28日(日)には、シンポジウムや完成内覧会等も開催しました。

山形エコハウスでは、3つのコンセプトが提案されています。1つ目は“地域性”です。エコハウスの木材は全て地場材のものが使用されています。また、夏暑く、冬厳しい寒さの気候に調和するため、建物内の空気の動きを考慮した換気システムを採用しています。2つ目は“環境性能の確保”です。断熱材のグラスウールを屋根に400mm、壁に300mm使用し、また、開口部は木製トリプル(3層)窓等とすることにより、熱損失を次世代省エネルギー基準の1/4にまで押さえ込んでいます。3つ目は“自然・再生可能エネルギーの活用”です。山形エコハウ

スはカーボンニュートラルハウスです。

このため、自然・再生可能エネルギーを徹底的に活用しています。太陽光発電、太陽熱温水システム、ペレットボイラーを導入することで、二酸化炭素の排出量をゼロにします。

なお、夜間に必要とするエネルギーは昼間の売電により賄う計画です。

山形エコハウスは、どなたでも見学できるようになっています。

是非、世界最高水準の高断熱、カーボンニュートラルハウスをご覧ください。

また、山形県では、来年度、断熱性等において次世代省エネ基準を満たし、県産木材を使い、省エネ機器を設置した住宅を建設する場合には、1軒あたり50万円を助成する等して、エコハウスの一層の普及を図りたいとしています。



完成したエコハウス

～金山町が守る景観と地球温暖化対策

山形県東北部に位置する金山町は、四季折々の美しい豊かな自然と昔からの街並みが残る、杉の美林に包まれた町です。

同町では、自然と調和した美しい街並みをつくり、あわせて林業等の地場産業を振興することを目的として、「街並み(景観)づくり100年運動」の推進に取り組んでいます。この運動は、住民生活と街並み(景観)づくりとが一体となった住民運動としての側面を有していると言われています。

この運動を推進するため、同町では、昭和61年に「金山町街並み景観条例」を制定し、街並みの基本となる「金山型住宅」を建てた場合の助成制度を定めました。

この助成制度により、平成20年度までに1,312件の助成が行われ、

(次ページへ)

環境省東北地方環境事務所

〒980-0014

仙台市青葉区本町3-2-23
仙台第2合同庁舎

電話:022(722)2870(代表)

FAX:022(722)2872

電子メール: RE0-TOHOKU@env.go.jp

(リサイクル、有害廃棄物輸出入関係、地球温暖化対策、石綿健康被害等に関すること)

電子メール: TOHOKU@env.go.jp

(国立公園、エコツーリズム、自然再生、野生生物、外来生物等に関すること)

現在、町の住宅の約35%が金山型住宅の建築物となり、同町固有の町並み（景観）を作っています。金山型住宅は、白壁と切り妻屋根の在来工法で建てられた住宅で、地元の金山で育った木材が使われていることから、気候風土にあった建物となっています。

また、地元の杉を使うことで林業の振興が図られて、地元経済の維持、発展の一助となっています。

現在、我が国では地球温暖化対策として森林吸収源対策を進めており、森林整備の重要性が増しています。同町の街並み（景観）づくりは、金山型住宅の普及を通じて、地元の木材を利用し、適切な森林整備を推進するものであり、ひいては住民生活と一体となった地球温暖化対策の促進となっています。

同町では、今後も街並み（景観）づくりを推進するとともに、公共施設等に木質バイオマスエネルギーを導入することにより、一層の温暖化対策を促進したいとしています。



金山型住宅

～東北地域のまほろば事業 環境と経済の好循環 まちづくり事業 (岩手県遠野市地域)

遠野市の概要と取組

「遠野物語」に代表されるように、遠野市は民話や郷土芸能等、

豊かな文化を有しています。同市は、本事業を通じて、自然・歴史・文化・田園風景等の地域資源を活用した、遠野型のエコツーリズムの推進と、豊富な森林資源をもとにした、木質バイオマスを活用した代替エネルギーを普及することにより、「永遠の日本のふるさと」の原風景の保全を進めるとともに、交流人口の拡大と地域産業の活性化を図り、環境と経済の好循環を実現することを目指しました。

取り組み内容

遠野型のエコツーリズムは、グリーンツーリズムに遠野市固有の歴史、文化、自然を活かしたエコツーリズムを加えたものです。このため、本事業では、遠野自然体験指導者養成講座、エコモデルツアー、ピオトープ研修会等を開催して、人材の育成やエコツーリズムの模擬コースの検証等を行い、遠野型エコツーリズムの確立を図りました。また、1家庭1エコ事業及び次世代向け啓発イベントに取り組み、市民の環境保全意識の向上に効果を上げました。木質バイオマスを活用した代替エネルギーの普及については、市内の公共施設等にペレットボイラーとペレットストーブを整備しました。ペレットボイラーは、保育園・児童館等に2台設置し、ペレットストーブは、一般家庭等に11台を設置しました。数量は合わせて13台と少ないですが、市民の身近なところに導入したことで、市民の木質バイオマスを活用した代替エネルギーに対する関心を大きく高める効果がありました。

また、9つの小学校と保育園・児童館等には太陽光・風力発電の街灯を10基設置し、次代を担う子どもたちの環境に対する意識を啓発しています。

事業効果、そして広域連携へ

これらの設備の整備により、平成20年度には約53トンの二酸化炭素が削減されています。遠野市では、引き続き、遠野型のエコツーリズムやグリーンツーリズムを一層推進することにより、住民の自然保護意識の高揚、交流人口の拡大に努めるとともに、林業を主体とする隣接の自治体から木質ペレットを調達することにより、広域連携の森林保全と地域経済の活性化を図りたいとしています。



ペレットボイラーでロードヒーティングも行っています

事業紹介

～浄土ヶ浜ビジターセンター完成

陸中海岸国立公園の姉ヶ崎地区（宮古市）においては、これまで「宮古ビジターセンター」で、宮古周辺の自然情報や自然ふれあい活動の提供を行ってきましたが、この度、その機能を拡充した陸中

海岸全域の中核施設として、新たに浄土ヶ浜に「浄土ヶ浜ビジターセンター」を整備しました。建設工事は本年3月に完了し、4月末オープンとの予定となっています。建物は鉄筋コンクリート造3階建てで、車いす利用者等に配慮したエレベーター、省エネを考慮した太陽光発電施設等を備えており、陸中海岸国立公園の全域にわたる自然環境や見どころの情報から、地域毎の最新情報、浄土ヶ浜周辺のフィールド案内まで、幅広い内容について各種展示物や大画面シアター等により紹介しています。

また、本施設の運営については、陸中海岸国立公園に関係する12市町村をはじめとした行政機関や主な民間事業者等にも協力をいただき、陸中海岸全域に関する最新情報の収集や自然観察会等の活動において、関連施設との連携を進めるなど、より一層の充実を図っていくこととしています。



浄土ヶ浜ビジターセンター
館内展示より

活動紹介

～ベガルタ仙台ホーム 開幕戦東北地方事務所 普及啓発活動報告 (宮城県仙台市)

東北地方環境事務所では、3月13日(土)にベガルタ仙台のJ1復帰初のホームゲームが行われた

ユアテックスタジアム仙台で、環境省の循環型社会地域支援事業に採択されている「エコシティ仙台創造プロジェクト」(プロスポーツの試合を中心にごみ減量や環境問題への取り組みを行うプロジェクト)に参加し、3R普及啓発パネルの展示や分別回収などの活動を行いました。

これからも、このような活動を通じ、ごみの発生抑制やリサイクルの取組が広がることを期待しています。

また、当日は、ベガルタ仙台V S 大宮アルディージャとの開幕戦が始まるまでの間や休憩時間に、

出店ブースにおいてパネルの展示とチャレンジ25宣言を行ってもらい、その場で宣言書を渡しました。

会場では、エコまるの着ぐるみもPRに一役買っていました。



エコステーション
(ゴミ分別の取組)



チャレンジ25宣言中

行事案内

～東北環境産業・まちづくり 懇談会

温暖化対策や環境保全対策に熱心な自治体や企業に集まっていたいただき、東北地方におけるこれらの対策の今後の可能性について議論していただくために開催するもので、その際、単純に温暖化対策の観点からのみ考えるのではなく、住みよい地域社会・良好な環境を構築するためには、まちづくりの中に如何に温暖化対策を取り入れていくかということを重要視して議論していく予定です。

日時 平成22年4月9日(金)

職場紹介

～藤里自然保護官事務所

白神山地は、秋田県と青森県にまたがる広大な山岳地帯で、ブナの森を中心とした豊かな自然が評価され、約1万7千㍓が平成5年12月に世界自然遺産に登録されました。

藤里自然保護官事務所では、この世界遺産の区域とほぼオーバーラップする白神山地自然環境保全地域と国指定鳥獣保護区の秋田県側の管理を担当しています。

また、白神山地世界遺産地域の普及啓発の拠点施設として世界遺産センター(藤里館)が整備され、東北地方環境事務所・秋田県・藤里町で構成する藤里館活動協議会と協力して、この管理運営にも当たっています。

(次ページへ)

藤里館は、一般の方々の世界遺産や自然に対する理解を深めてもらうよう、世界遺産地域の紹介や白神山地の自然を詳しく展示しているほか、映像を見ながら学習したり展示会などでもできるホールが整備されており、活動協議会の職員とともに館内の案内や環境学習への支援、自然情報の提供に努めています。ここは、年間2万5千人前後の入館者があり、平成10年10月にオープンしてから11年目の昨年10月に30万人の入館者

を数え記念のセレモニーを行いました。

藤里館では、みどりの日に自然観察会を行っています。藤里館周辺の里山を散策しながら早春の自然にふれあうというもので、発足以来毎年実施している伝統を引き継いで今年は12回目を企画するつもりです。

沢山の方々のご来館をお待ちしています。

(自然保護官：小松恭稔)



藤里自然保護官事務所職員

○写真左側は小松、右は活動協議会職員で斉藤栄作美氏、中は同福司和代さん

東北地方環境事務所の業務予定(平成22年4月・5月)

	時間	業務予定内容		場所等	担当課等
4.9	13:30～17:30	東北環境産業・まちづくり懇談会	温暖化対策、環境保全対策に熱心に取り組んでいる自治体、企業による懇談会	仙台第2合同庁舎4階共用会議室(仙台市)	環境対策課(矢吹)
4.9	8:30～15:00	スノーシューウォーク第4弾*横岳	横岳でスノーシューウォーク	酸ヶ湯公共駐車場集合(青森市)	十和田自然保護官事務所(山本)
4.11	9:30～14:00	基石海岸自然観察会	陸中海岸国立公園内の自然歩道(基石海岸を訪ねる道)を利用して、カタクリ等春の植物を紹介	基石海岸を訪ねる道(大船渡市末崎町)	大船渡自然保護官事務所(久保井)
4.16	10:00～12:00	温暖化防止いわて県民会議家庭部会の開催について	平成22年度の家庭部会の取組について	岩手県立県民生活センター2階大ホール	環境対策課(向田)
4.17	9:00～12:30	「浄土ヶ浜へ春さがしに出かけよう！」	浄土ヶ浜に咲く春を告げる植物を探しながら緩やかなコースを散策する。	浄土ヶ浜(宮古市)	宮古自然保護官事務所(深谷)
4.17	9:00～12:30	春のバードウォッチング	バードウォッチング入門	玉川堤(鶴岡市)	羽黒自然保護官事務所(長谷川)
4.18	9:30～12:00	桜とブナの新緑観察会	残雪の上に咲く桜を觀賞しよう	やすらぎの森(鶴岡市)	羽黒自然保護官事務所(長谷川)
4.21	9:00～12:00	奥入瀬溪流クリーンハイキング	奥入瀬溪流でハイキングしながらゴミ拾い	石ヶ戸休憩所集合(十和田市)	十和田自然保護官事務所(七目木)
4.22	13:30～17:00	東北地区不法投棄対策担当者連絡会議	東北各県、政令市及び関係機関の不法投棄対策担当者による連絡会議	仙台第二合同庁舎2階会議室(仙台市)	廃棄物・リサイクル対策課(前田)

	時間	業務予定内容		場所等	担当課等
4.24	9:00～ 14:00	組み木の五月人形を作ってみよう	組み木の五月人形を作ってみよう	月山ビジターセンター (鶴岡市)	羽黒自然保護 官事務所 (長谷川)
4.25	15:00～ 16:30	浄土ヶ浜ビジターセンター開館	宮古市浄土ヶ浜にビジターセンター開館記念式典の開催	浄土ヶ浜ビジター センター(宮古市)	国立公園・保全 整備課(北橋)
4.25	9:00～ 12:00	羽黒山新緑バードウォッチング	春を告げる鳥の観察会	月山ビジターセンター 周辺(鶴岡市)	羽黒自然保護 官事務所 (長谷川)
4.27	8:00～ 15:00	スノーシューウォーク 第5弾*乗鞍岳	乗鞍岳でスノーシューウォーク	鳶温泉駐車場集合 (十和田市)	十和田自然保 護官事務所 (七目木)
4.29	10:00～ 14:00	みどりの月間「八幡平山頂—早春の自然観察会」	残雪上をかんじきをつけ散策しながら八幡平特有の地形・気象・植生等の自然観察	八幡平山頂駐車場 から八幡平一帯	鹿角自然保護 官事務所 (井手)
4.29～ 5.5の 毎日	10:00～ 13:00～	網張の森ミニ自然観察会	ビジターセンター周辺の園地において、動植物観察(1日2回 各1時間)	網張ビジターセンター 周辺(雫石町)	盛岡自然保護 官事務所 (田村)
5.1～ 5.5	未定	周辺ガイド草木体験	ミズバショウとザゼンソウのガイドウォーク サクラ染めを楽しもう	月山ビジターセンター 周辺(鶴岡市)	羽黒自然保護 官事務所 (長谷川)
5.2	未定	笹巻を作ってみよう	笹の葉で笹巻きを巻いてみよう	月山ビジターセンター (鶴岡市)	羽黒自然保護 官事務所 (長谷川)
5.2	10:00～ 14:30	網張の森スプリングエフェメラル観察会	ミズナラやブナの森で、芽吹きやスプリングエフェメラル、野鳥等、躍動する春の自然観察会	網張ビジターセンター 周辺(雫石町)	盛岡自然保護 官事務所 (田村)
5.3～ 5.5	未定	磐梯朝日国立公園 60周年記念エコウォーキング、トーク&ライブ	磐梯朝日国立公園の指定 60周年を記念し、裏磐梯地区においてエコツーリズム、ウォーキングやトークショーなどを実施する。	裏磐梯周辺 (北塩原村)	裏磐梯自然保 護官事務所 (福地)
5.4	未定	ヨモギ餅を作ろう	身近な野草(薬草)のヨモギを使ってもちつき	月山ビジターセンター (鶴岡市)	羽黒自然保護 官事務所 (長谷川)
5.4	8:30～ 15:00	自然観察会「みどりの日に集う」	白神山地世界遺産センター(藤里館)周辺里山の自然観察や白神山地を眺望する	白神山地世界遺産 センター藤里館 (藤里町)	藤里自然保護 官事務所 (小松)
5.8	未定	残雪とブナの新緑観察会	山菜の採取の方法、見分け方	未定	羽黒自然保護 官事務所 (長谷川)
5.8	9:00～ 12:00	網張の森バードウォッチング	ミズナラやブナの森で、繁殖活動を始めた野鳥の様子や食餌、生活環境について観察	網張の森散策歩道 (雫石町)	盛岡自然保護 官事務所 (田村)
5.9	未定	残雪とブナの森観察会	ブナの二次林観察会	月山二合目(鶴岡市)	羽黒自然保護 官事務所 (長谷川)
5.9	未定	野鳥観察会	鳥獣保護区でバードウォッチングをしながら自然を観察し、野鳥をとおして自然の大切さの理解を深める	秋田県大潟村	秋田自然保護 官事務所 (畠山)
5.9	未定	自然観察会「裏磐梯の野鳥を観察しよう」	裏磐梯に訪れる野鳥を観察し、野鳥の暮らせる環境について考える	五色沼周辺 (北塩原村)	裏磐梯自然保 護官事務所 (福地)

	時間	業務予定内容		場所等	担当課等
5.9	8:30～ 15:00	桜の季節北岸ウォーク！（青森側）	十和田湖畔で最も原始的な青ブナ～県境間を歩き、キバナイカリソウ、オオヤマザクラの花などを観察	十和田湖畔 （十和田市）	十和田自然保護官事務所 （七目木）

誌上写真展



シロキツネノサカズキ
（鳥海南麓自然保護官事務所 大木庸子）



春がやってきた！
（仙台自然保護官事務所
アクティブレンジャー鎌田和子）



酸ヶ湯冬のイベントスノーシュー（八甲田）
（十和田自然保護官事務所
アクティブレンジャー村田野人）



オオミスミソウ
（鳥海南麓自然保護官事務所 大木庸子）



大谷地湿原（自然観察会より）クマ棚
（鹿角自然保護官事務所
アクティブレンジャー大堀 拓）



フクジュソウ
（宮古自然保護官事務所
アクティブレンジャー高屋敷七恵）

※当事務所以外の方からの投稿もお待ちしております。

題字横の写真：三貫島より死骨崎を望む（岩手県釜石市）
（大船渡自然保護官事務所 久保井喬）